

2024年度 第3四半期決算説明資料

2025年1月31日

塩野義製薬株式会社



SHIONOGI

Agenda

01

2024年度 第3四半期決算の概要

(P.3-12)

02

2030年Vision実現に向けて

(P.13-26)

- ・中国ビジネスの变革
- ・パイプラインの進展

2024年度 第3四半期決算の概要



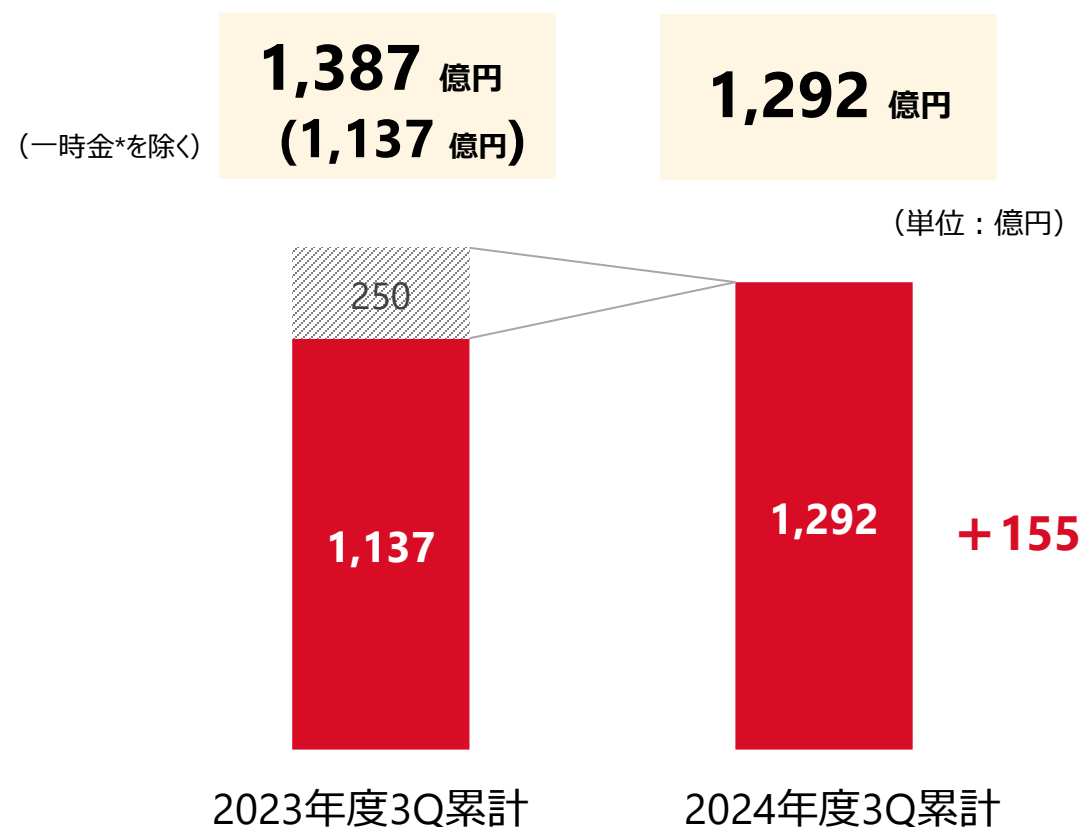
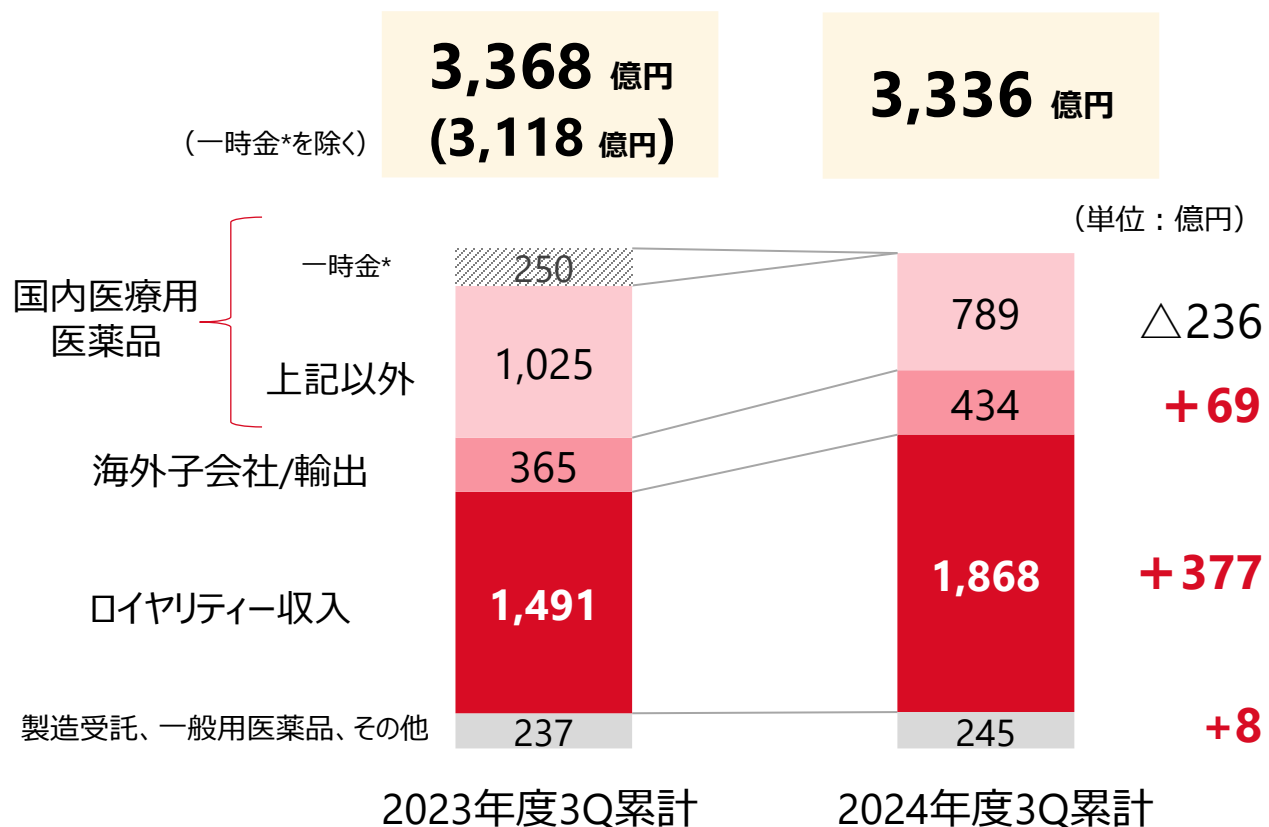
SHIONOGI

決算ハイライト

中間期に引き続き、昨年の一時金*（250億円）を除くと、売上収益、営業利益は増収増益

売上収益

営業利益



連結経営成績

決算概況

- 売上収益および各種利益項目は通期予想に対して、ほぼ想定通りで着地
 - HIV事業と海外事業が引き続き力強く成長
 - 国内事業は感染症事業の安定化により、堅調な進捗
- 対前年同期では、一時金を除くと増収増益

(単位：億円)

	24年度			23年度		対前年同期		為替レート（期中平均）	
	通期予想	4-12月実績	通期進捗率	4-12月実績	UP率	増減額	2024年度前提	2024年度4-12月実績	
売上収益	4,600	3,336	72.5%	3,368	△1.0%	△32	ドル	148円	152.64円
営業利益	1,650	1,292	78.3%	1,387	△6.9%	△95	ポンド	190円	195.50円
税引前四半期利益	2,060	1,559	75.7%	1,645	△5.2%	△86	ユーロ	161円	164.89円
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,710	1,338	78.2%	1,272	5.2%	66			
EBITDA*	-	1,464	-	1,602	△8.6%	△138			

連結損益計算書

(単位：億円)

	24年度			23年度		対前年同期	
	通期予想	4-12月実績	通期進捗率	4-12月実績	UP率	増減額	
売上収益	4,600	3,336	72.5%	3,368	△1.0%	△32	
売上原価	14.6 670	13.8 460	68.7%	12.6 424	8.6%	36	
売上総利益	3,930	2,876	73.2%	2,944	△2.3%	△69	
販売費・一般管理費・ 研究開発費 合計	48.9 2,250	46.7 1,559	69.3%	43.6 1,469	6.1%	90	
販売費・一般管理費	23.7 1,090	22.9 764	70.1%	22.1 743	2.9%	22	
研究開発費	25.2 1,160	23.8 794	68.5%	21.6 726	9.4%	68	
その他の収益・費用	△30	△25	81.7%	△88	△72.0%	63	
営業利益	35.9 1,650	38.7 1,292	78.3%	41.2 1,387	△6.9%	△95	
金融収益・費用	410	267	65.0%	257	3.5%	9	
税引前四半期利益	44.8 2,060	46.7 1,559	75.7%	48.8 1,645	△5.2%	△86	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,710	1,338	78.2%	1,272	5.2%	66	

主な増減要因（対前年同期）

売上収益

増加

- ・ 海外子会社/輸出
- ・ ロイヤリティー収入

減少

- ・ 国内医療用医薬品

原価

費用増加

- ・ プロダクトミックスの変化

研究開発費

費用増加

- ・ 優先度が高い開発品への積極投資

その他の収益・費用

費用減少

- ・ 特別早期退職プログラム実施に関する費用※

※ 昨年度に発生した要因



事業別売上収益

(単位：億円)

	24年度			23年度		対前年同期	
	通期予想	4-12月実績	通期進捗率	4-12月実績	UP率	増減額	
国内医療用医薬品	1,247	789	63.3%	1,275	△38.1%	△486	
一時的な要因を除く	-	789	-	1,025	△23.0%	△236	
海外子会社/輸出	576	434	75.3%	365	18.8%	69	
Shionogi Inc. (米国)	226	175	77.4%	131	33.6%	44	
Fetroja	-	147	-	106	39.6%	42	
Shionogi B.V. (欧州)	167	129	77.5%	101	28.5%	29	
Fetroja	-	99	-	79	25.6%	20	
平安塩野義/C&O	91	63	68.9%	83	△24.4%	△20	
その他	92	67	72.5%	51	32.1%	16	
製造受託	165	107	64.8%	117	△8.9%	△10	
一般用医薬品	166	127	76.5%	106	20.0%	21	
ロイヤリティー収入	2,428	1,868	76.9%	1,491	25.3%	377	
HIVフランチャイズ	2,349	1,835	78.1%	1,461	25.6%	374	
その他	79	33	41.2%	30	7.7%	2	
その他	18	11	62.1%	14	△18.2%	△2	
合計	4,600	3,336	72.5%	3,368	△1.0%	△32	

主な増減要因 (対前年同期)

国内医療用医薬品

減少

- ・ 感染症薬の売上
- ・ ADHD治療薬のライセンス移管に伴う一時金※

海外子会社/輸出

増加

- ・ セフィテロコルの売上
(米：Fetroja、欧：Fetroja)

一般用医薬品

増加

- ・ リンデロンやムコダインの売上が好調

ロイヤリティー収入

増加

- ・ ViiV社のHIVフランチャイズ販売が好調に推移

※ 昨年度に発生した要因



国内医療用医薬品売上収益

(単位：億円)

	通期予想	24年度		23年度		対前年同期	
		4-12月実績	通期進捗率	4-12月実績	UP率	増減額	
感染症薬	834	500	60.0%	690	△27.5%	△190	
COVID-19関連製品+ インフルエンザファミリー	723	433	59.9%	620	△30.2%	△187	
スインプロイク	59	38	65.0%	33	15.5%	5	
オキシコンチン類	50	33	66.2%	33	△0.4%	△0	
アシテア	13	7	51.1%	5	27.6%	1	
サインバルタ	33	19	56.4%	31	△40.3%	△13	
その他	258	192	74.4%	482*	△60.1%	△290	
クービビック	30	5	16.5%	-	-	5	
国内医療用医薬品	1,247	789	63.3%	1,275	△38.1%	△486	

- 感染症薬 -

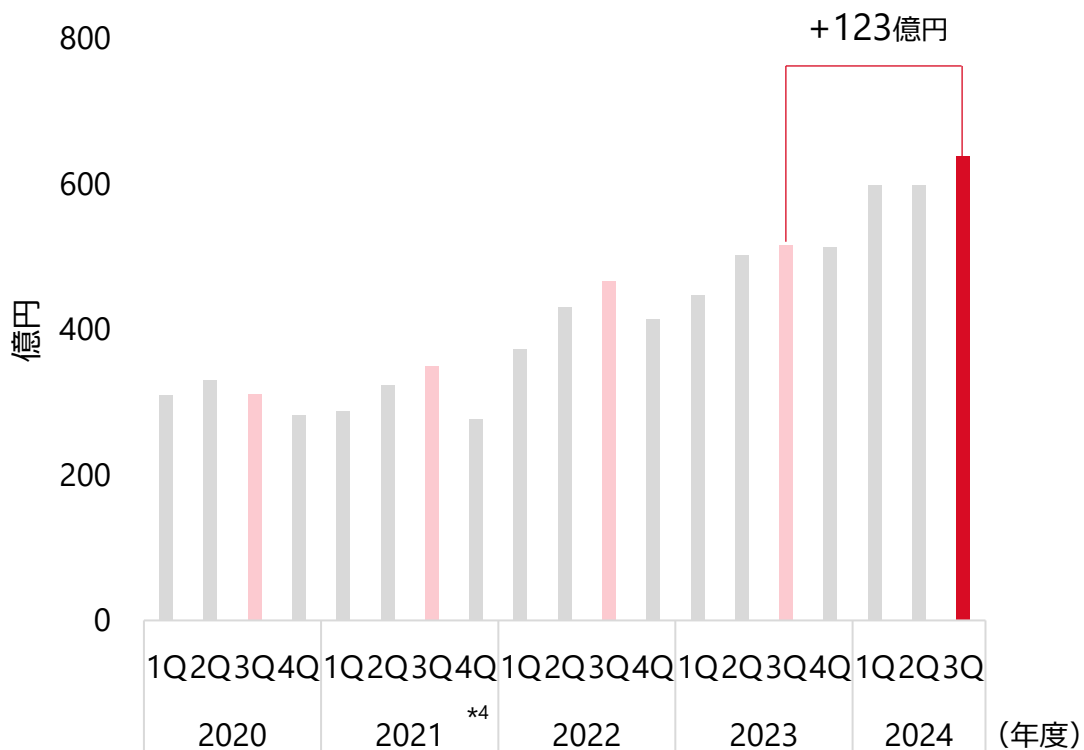
<ul style="list-style-type: none"> ・ フィニボックス ・ フルマリン ・ フロモックス ・ シオマリン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バクタ ・ フラジール ・ イソジン ・ フェトロージャ 	<ul style="list-style-type: none"> - COVID-19関連製品 - ・ ソコーバ 	<ul style="list-style-type: none"> - インフルエンザファミリー - ・ ソフルーザ ・ ラピアクタ ・ ブライトボックFlu・Neo*2
---	---	--	--

* ADHD治療薬のライセンス移管に伴う一時金を含む *2 2023年度実績にのみ計上

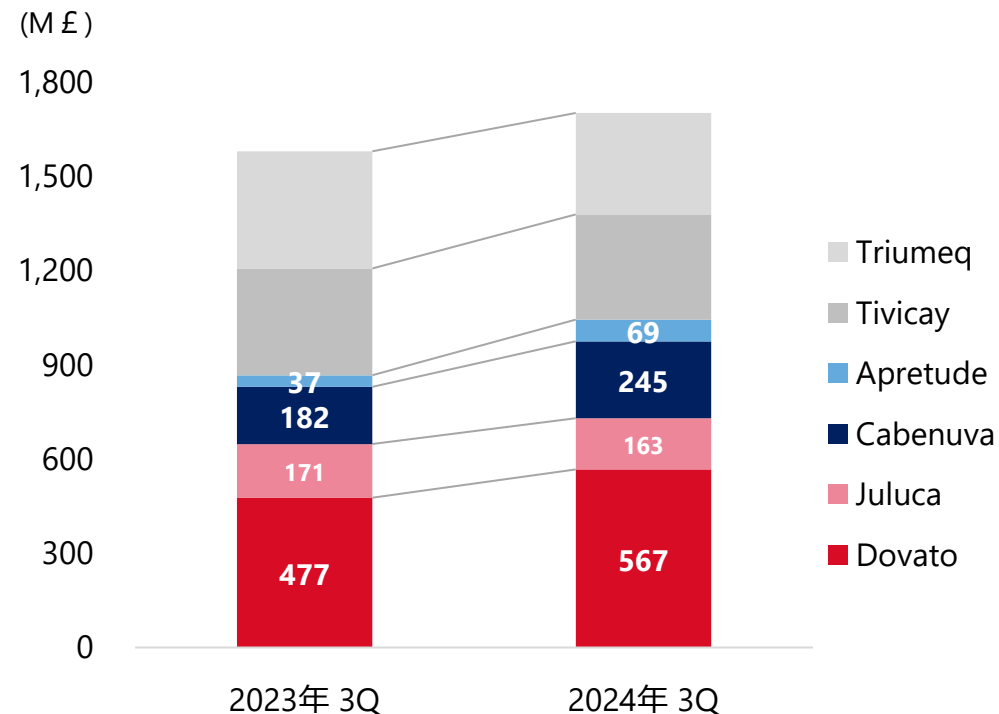
HIV事業の拡大

経口2剤レジメン* および長時間作用型 (LA*²) 製剤が、HIV事業の成長を力強く牽引

HIVロイヤリティー収入の推移（四半期ごと）



ViiV社のドルテグラビルおよびカボテグラビル製品群の売上*³



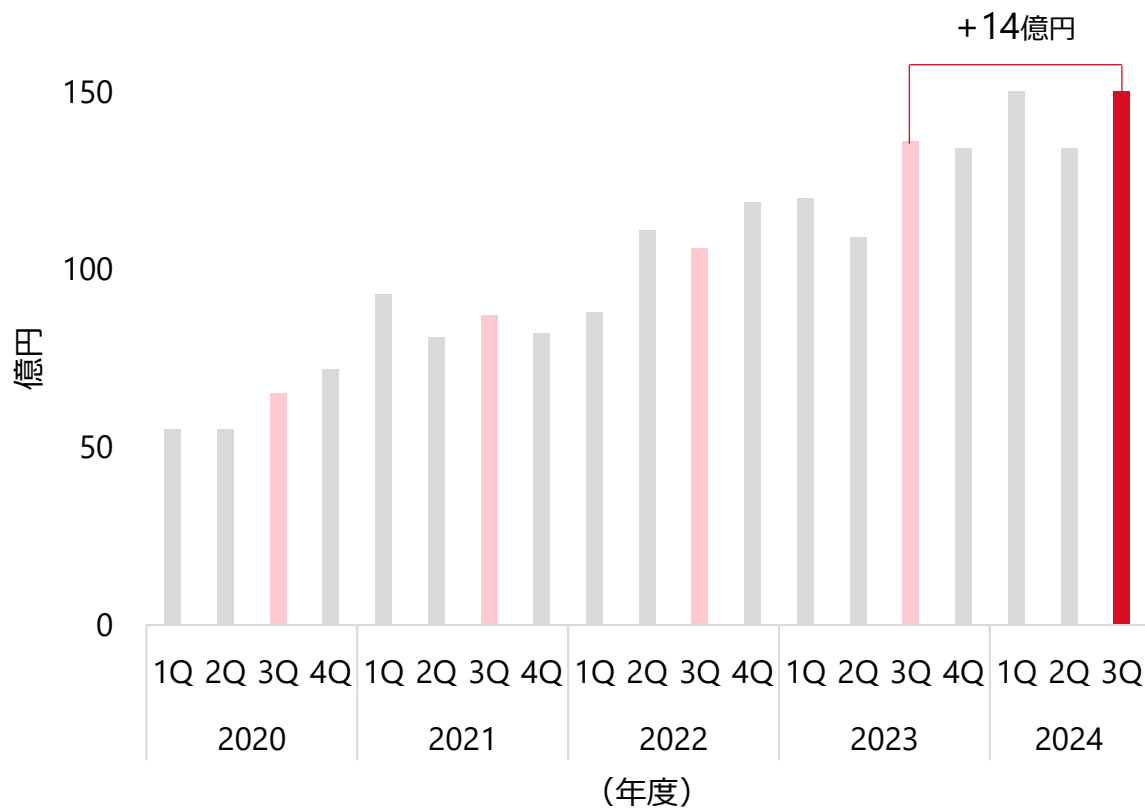
* 経口2剤レジメン：Dovato、Juluca *² LA: Long Acting（長時間作用型）：Apretude、Cabenuva *³ GSK社決算資料より弊社作成

*⁴ 2021年4QにViiV社、GSK社およびSHIONOGIとGilead社の和解によって生じた追加のロイヤリティーは含まない

海外事業の拡大

セフィデロコルの欧米における安定的な成長と、販売国の拡大により、海外事業はさらなる成長へ

海外子会社/輸出の売上収益（四半期ごと）



セフィデロコルが成長を牽引

- 米国：+13.1億円：32.1%の成長
- 欧州：+2.5億円：7.6%の成長

セフィデロコルの販売国拡大（25カ国で販売）

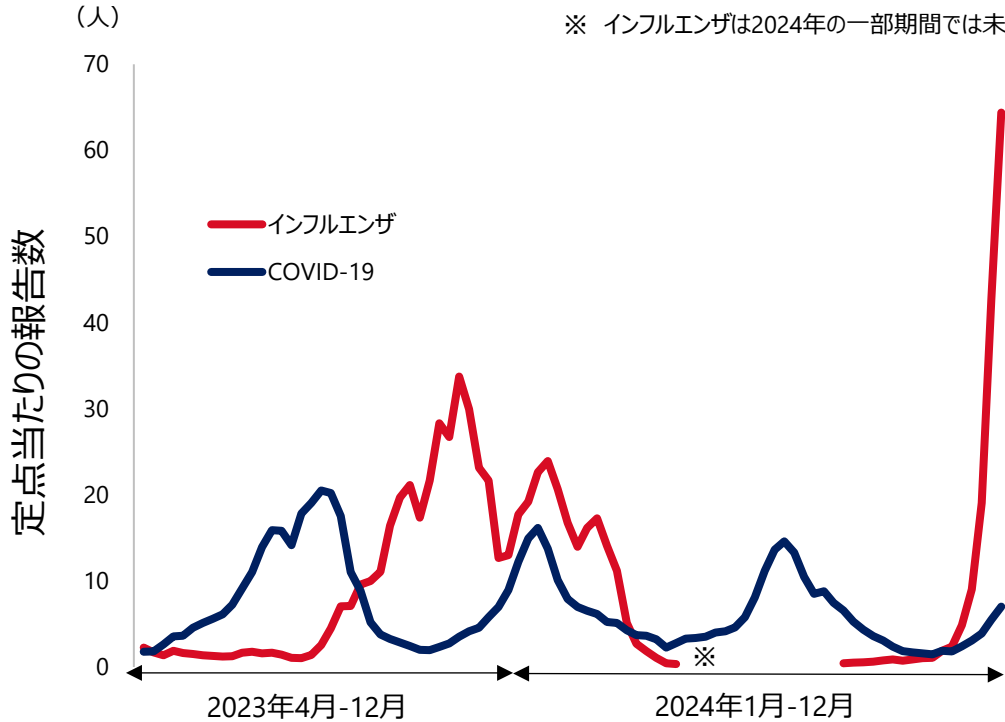
- 直近の申請アップデート
 - 豪州：承認申請が受理 FY2024 3Q **new**
 - 中国：承認申請が受理 FY2024 2Q

国内事業の状況（COVID-19&インフルエンザ）

インフルエンザ、COVID-19の治療薬市場においてシェアを拡大し、流行に応じて安定的に業績に貢献

感染患者の推移*（2023年4月4週～）

※ インフルエンザは2024年の一部期間では未集計



過去2年間、どちらかの感染症が一定の流行を示す

インフルエンザファミリー*2（インフルエンザ治療薬）

感染拡大に伴い12月以降の処方が急拡大

治療率*3

安定して**90%**程度で推移

シェア*4

昨年度からさらに**拡大**

ゾコーバ（COVID-19治療薬）

4Qの感染拡大に備え、啓発活動を推進

治療率*3

3Qは一貫して**12-14%**程度

シェア*4

安定して**65%**程度で推移

2024年度 第3四半期の成果

HIV事業・海外事業の成長と国内事業の安定化により、通期予想は達成する見込み

HIV事業と海外事業が大きく成長

- HIV事業 : 対前年同期で**+374億円**
- 海外事業 : 対前年同期で**+69億円**

国内事業は、感染症事業の安定化と新たな収益基盤の構築へ

- ゾコーバおよびインフルエンザファミリーともに、高いシェアを確保し、感染拡大時には安定的な売上を計上
 - 3Qはインフルエンザファミリーの売上が拡大
- クービビックの新発売

通期計画に対して、全項目で想定通りの着地

- 売上収益に合わせたコストマネジメントを実践
- 研究開発は優先度を付けて、力強く推進

2030年Vision実現に向けて

- ・中国ビジネスの変革
- ・パイプラインの進展



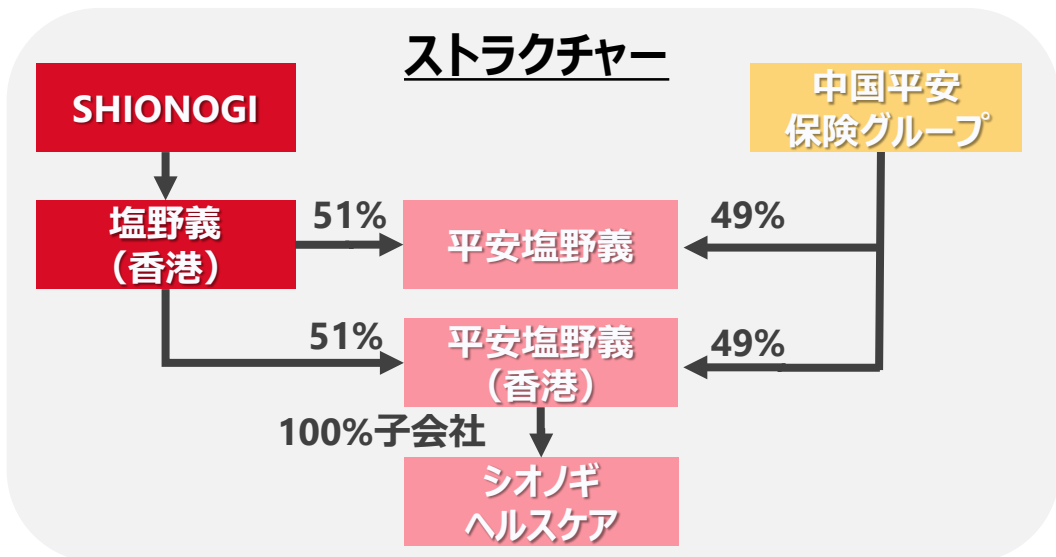
SHIONOGI

中国平安保険との合併事業解消

SHIONOGI単独で中国を含むアジア地域での事業を展開

合併事業の実績とストラクチャー

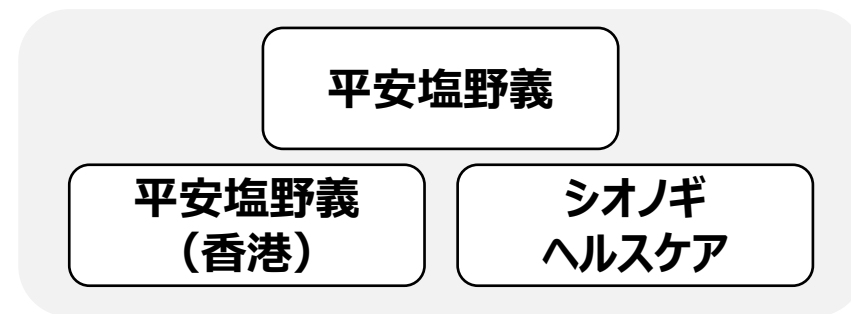
- 中国でのセフィデロコルの承認申請、医療特区における先行承認
- シンガポールでのエンシトレルビル、セフィデロコルのSAR*承認取得
- AIを活用した創薬のノウハウと候補化合物の獲得



発展的
解消

今後の体制

- SHIONOGIが以下3社を100%子会社化
- これまでに蓄積したノウハウを活かし、医薬品の開発・製造・販売を展開



**ビジネスプランの詳細は
2025年3月期の本決算にて開示予定**

中国ビジネスの今後の展望

新薬ビジネスへの集中により、中国における成長を実現

- SHIONOGI製品（新薬）の上市・新薬の創薬を加速
- 2025年度以降に新薬を継続して上市することで、トップラインの成長を実現

SHIONOGI製品（新薬）の上市

セフィデロコル
(グラム陰性菌感染症治療薬)

申請済み
2025年中の承認取得予定

ナルデメジン
(オピオイド誘発性便秘症)

Phase 3試験にて主要評価項目を達成
2025年中に申請予定

エンシトレルビル
(COVID-19)

申請準備中

オロロフィム
(侵襲性アスペルギルス症)

グローバルPhase 3試験実施中



中国での創薬研究

- AI技術を活用した創薬の継続
- 独自に創出した新薬候補について臨床検証が進行中

候補化合物
(特発性肺線維症)

医師主導治験が進行中

2030年Vision実現に向けて

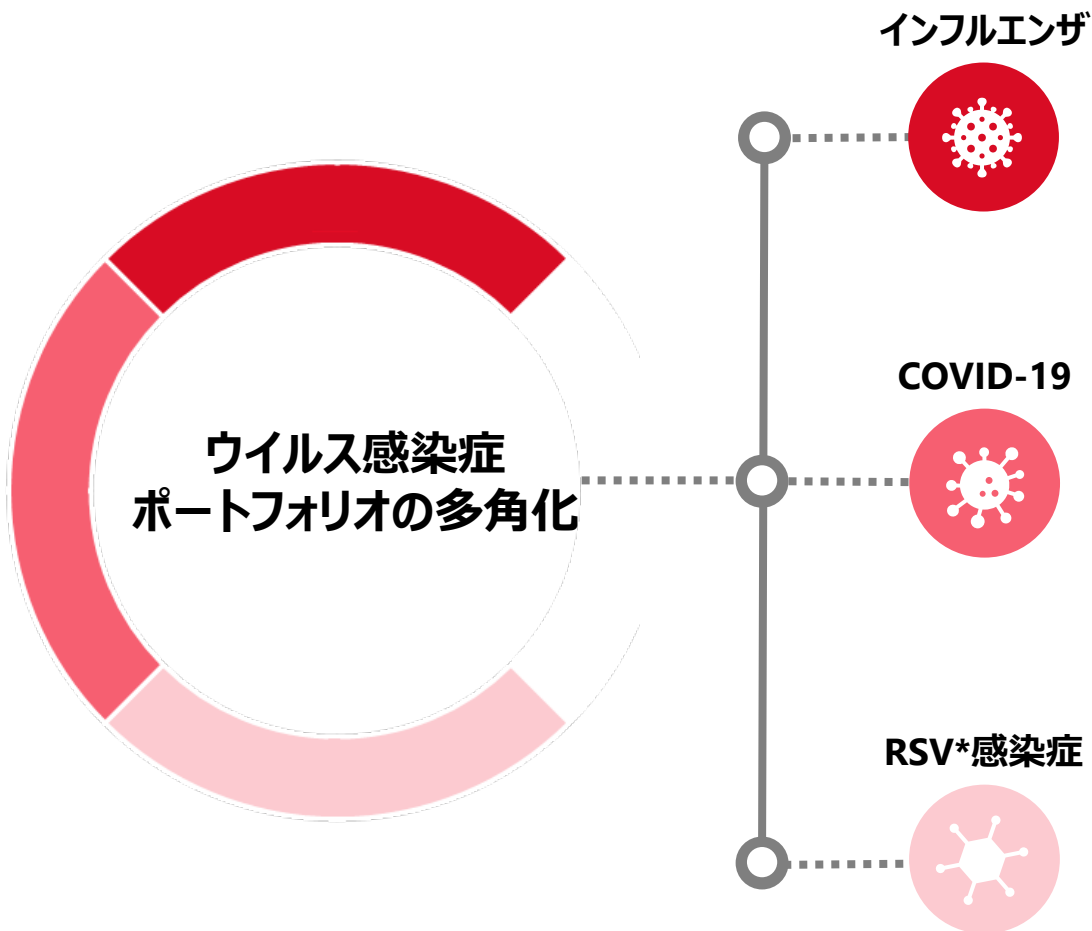
- 中国ビジネスの变革
- パイプラインの進展



SHIONOGI

急性呼吸器感染症事業：ポートフォリオの多角化

疾患ポートフォリオの拡充と各薬剤のグローバル化により、安定から“成長”へ



 **ゾフルーザ** 1回の経口投与で治療・予防を完結

- ▶ ウイルスの伝播を抑制する新たなエビデンスを蓄積

 **ゾコーバ** 治療・予防でグローバル展開

- ▶ グローバル展開を見据えて、FDA・EMA等の各種規制当局と協議中

S-892216 次世代3CLプロテアーゼ阻害剤

- ▶ 経口剤の治療とLA注射製剤の曝露前予防を対象とした開発

S-337395 三つ目の急性呼吸器感染症への参入

- ▶ Phase 2試験にて主要評価項目達成、グローバル開発へ

COVID-19：グローバルにおける市場性

COVID-19は、今なおウイルスの変異を繰り返し、多くの人々の健康や生活に影響を与えている

COVID-19の推定患者数* (米国)

2024年9月29日～2025年1月4日

—感染者数—

390-700 万人

—受診者数—

94-190 万人

—入院者数—

11-19 万人

—死亡者数—

1.3-2.2 万人

経口治療薬2製品の売上合計*2 (米国)

2024年1月～9月

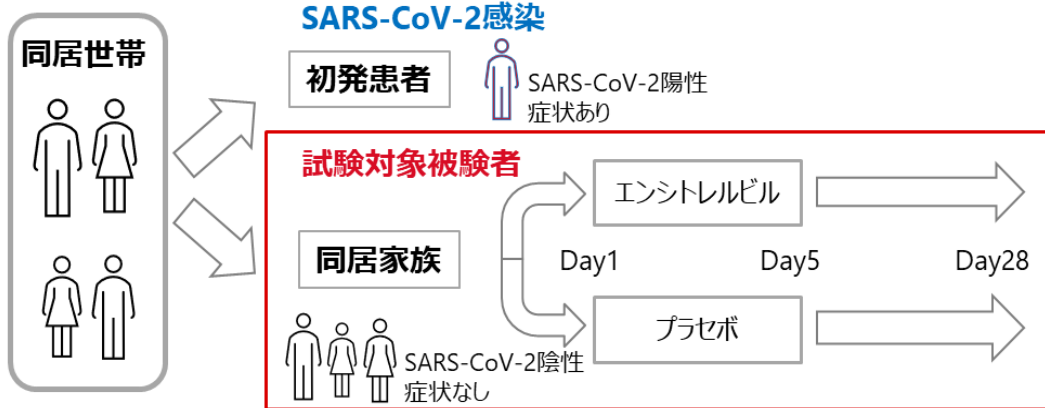
約 **43** 億ドル

エンシトレルビル：SCORPIO-PEP* 試験の結果

経口抗ウイルス薬で世界初となるCOVID-19の発症抑制効果を実証*2

試験デザイン*3

実施国	米国、南米、アフリカ、日本を含むアジア
試験デザイン	多施設共同、無作為化、プラセボ対照二重盲検比較試験
対象	COVID-19患者の同居家族または共同生活者
用法・用量 症例数	・ 1日1回経口投与、5日間（治療適応と同一） ・ エンシトレルビル：1,200例、プラセボ：1,200例
試験の 主な目的	エンシトレルビル投与開始から10日間のCOVID-19発症抑制効果の検証



試験結果（速報）

試験結果 サマリー	—主要評価項目を達成—
	・主要評価項目： <ul style="list-style-type: none">- 投与後10日までにSARS-CoV-2に感染し、COVID-19症状を発症した被験者の割合を有意に低下 ・副次評価項目： <ul style="list-style-type: none">- SARS-CoV-2感染した被験者の割合なども低下- 安全性面で新たな懸念なし- 治療試験と同様の薬物動態
詳細報告	2025年3月開催CROI*4にて 詳細を発表（Late-breaker）

* PEP：Post-Exposure prophylactic（曝露後予防） *2 2024年10月29日プレスリリース

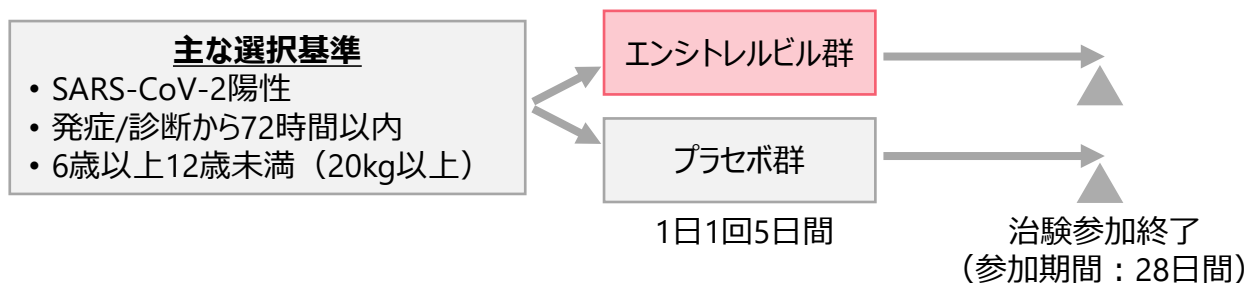
*3 [JRCT2031230124](https://doi.org/10.1186/1745-2974-12-30124) *4 The Conference on Retroviruses and Opportunistic Infections

エンシトレビル：小児対象試験の結果

治療選択肢の限られる6歳以上12歳未満の小児患者を対象に、適応拡大に向けた開発を推進

試験デザイン*

実施国	日本
試験デザイン	多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照比較試験
対象	6歳以上12歳未満の軽症/中等症のCOVID-19患者 (計120例)
用法・用量 症例数	• 1日1回、5日間の経口投与 • エンシトレビル（3用量、計80例）、プラセボ（40例）
試験の 主な目的	• 安全性、忍容性、薬物動態の確認



試験結果（速報）

試験結果 サマリー	<ul style="list-style-type: none">• 安全性および忍容性を確認• 成人と同様の良好な薬物動態
詳細報告	試験結果の詳細は、 主要な国内学会にて報告予定
今後の方針	本試験結果に基づき、国内申請準備中

エンシトレビル：グローバル開発状況

エンシトレビルの価値最大化に向けて、適応拡大やグローバル展開などの取り組みを推進

開発状況

臨床試験	ステータス
SCORPIO-SR試験 (アジア：Phase 3)	主要評価項目達成
SCORPIO-HR試験 (グローバル：Phase 3)	主要評価項目未達
小児対象試験 (日本：Phase 3)	速報取得（安全性・PK確認）
SCORPIO-PEP試験 (グローバル：Phase 3)	主要評価項目達成
STRIVE試験 (グローバル：Phase 3)	臨床試験実施中
Long COVID (医師主導試験)	大阪大学との共同研究を実施中

各国の状況

国	ステータス
米国	申請前相談実施中
欧州	申請前相談実施中
日本	通常承認取得済 小児、曝露後予防の適応拡大に向けて申請準備中
中国	規制当局と協議中
シンガポール	SAR承認を取得済 審査中（通常承認申請済）
台湾	承認申請受理 / 政府備蓄契約を締結済み
韓国	SCORPIO-PEP試験のデータを追加し、 再申請予定

S-892216 : 次世代 3CLプロテアーゼ阻害剤

公衆衛生上の重大な課題の解消に向けて、新たなソリューションの開発を加速

S-892216のプロファイル

作用メカニズム

- SARS-CoV-2 3CLプロテアーゼ阻害剤

製品特性

- 薬物相互作用が少ない
- 強い抗ウイルス効果
- 妊婦に禁忌の規程がない
(非臨床で催奇形性を疑う所見は確認されていない)
- 既存薬とは異なる薬剤耐性プロファイル
(他の3CLプロテアーゼ阻害剤とは結合部位が異なる)

S-892216の開発方針

経口剤*

- 適応症：COVID-19の治療
- 開発計画：2024年度4Q Phase 2開始予定（日本、米国）

長時間作用型注射剤

- 適応症：COVID-19の曝露前予防
- 開発計画：2025年中にIND申請*² とPhase 1試験の開始を予定（米国）

米国BARDA*³が資金提供する緊急対応パートナーシップ（RRPV）コンソーシアムより、開発支援対象として、**375百万ドル（約585億円*⁴）の助成金を受領予定*⁵**

* 経口剤の研究開発は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（Japan Agency for Medical Research and Development: AMED）の課題番号21fk0108584h0001および22fk0108522h0001の支援を受けています。

S-337395 : RSウイルス感染症の市場性とメカニズム

潜在患者は非常に多いが、効果的な治療薬は存在しないため、アンメットニーズが大きい市場

米国における潜在患者数*1,2

乳幼児 (0-5歳)

約 **210** 万人

—入院患者数—
5.8-8 万人

—死亡者数—
100-500 人

ハイリスク患者 (60歳以上)

約 **120** 万人

—入院患者数—
-10.8 万人

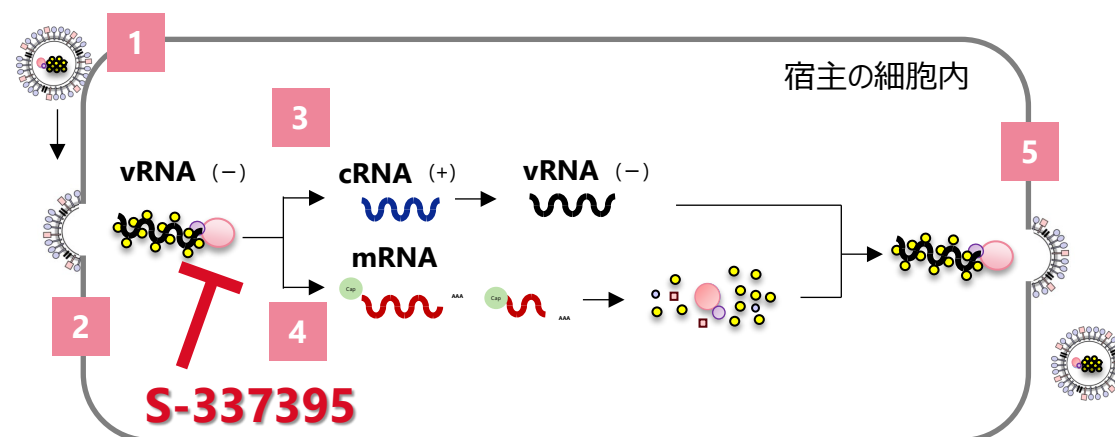
—死亡者数—
7,700 人

年間300万人以上の潜在患者がいる大きい市場

S-337395*3 のメカニズム

RSウイルスのライフサイクルのうち、ウイルスゲノムの転写・複製に関する**Lタンパク質**を阻害

1. 吸着 ▶ 2. 膜融合 ▶ 3. 複製 ▶ 4. 転写 ▶ 5. 出芽



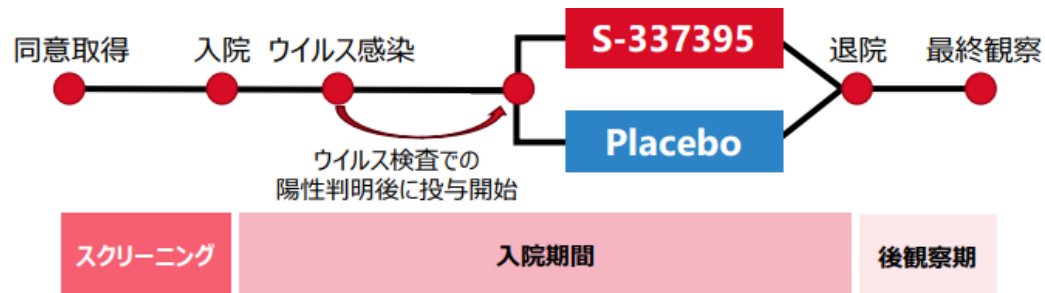
● : Nタンパク質 ● : Lタンパク質 ○ : Fタンパク質 ○ : Pタンパク質

S-337395 : Phase 2試験* の結果

統計学的に有意なウイルス量の減少を示し、主要評価項目を達成

試験デザイン

実施国	英国
試験デザイン	無作為化、プラセボ対照二重盲検比較 ヒトチャレンジ試験
対象	健常な成人（計114例）
用法・用量 症例数	• 1日1回、5日間の経口投与 • S-337395（4用量） ：最低用量のみ10例、その他は各群26例 • プラセボ：26例
主要評価項目	qRT-PCRで測定するRSウイルス量の曲線下面積（AUC）



試験結果（速報）

試験結果 サマリー	<p>— 主要評価項目を達成 —</p> <ul style="list-style-type: none">• 最高用量群にて、88.94%のウイルス量の減少（$P < 0.0001$）• 用量依存的なウイルス量の減少を確認• 統計学的に有意な臨床症状スコアの改善• 忍容性・安全性に懸念なし
詳細報告	試験結果の詳細は、 主要な国際学会にて報告する予定
今後の方針	本試験結果をもとに、後期のグローバル試験を 実施すべく、開発方針を検討中

主要な開発プロジェクトのマイルストーン - 感染症 -

※棒線の始点はFPI、終点はCSR、速報は入手時期を示しており開示時期は別途検討

疾患領域	プロジェクト	対象疾患	現開発ステージ	2024年度	2025年度	特記事項
COVID-19 治療薬	エンシトレビル	COVID-19	グローバル申請 準備中	→		
	エンシトレビル	COVID-19 小児	Phase 3	→ 症例登録完了 (FY24 2Q)		速報取得 (安全性・PK確認) : 2025年1月
	エンシトレビル	COVID-19 曝露後予防	Phase 3	→ 症例登録完了 (FY24 2Q)		主要評価項目を達成 : 2024年10月
	S-892216	COVID-19	Phase 1	Phase 2 開始 (FY24 4Q) → 速報 (FY25 3Q)		
		COVID-19 曝露前予防	非臨床	→		
COVID-19 ワクチン	コブゴーズ (S-268019)	COVID-19 (起源株ワクチン)	承認	→		
	S-268024	COVID-19 (JN.1ワクチン)	非臨床	Phase 3 開始 (FY24 4Q) → 速報 (FY25 2Q)		Phase 3試験準備中
	S-567123	COVID-19 (ユニバーサルワクチン)	非臨床	Phase 1 開始 (FY24 4Q) → 速報 (FY25 2Q)		
感染症	Olorofim	侵襲性アスペルギルス症	Phase 3	→		
	S-337395	RSウイルス感染症	Phase 2	速報 (FY24 3Q) → 成人検証試験 開始 (FY25)		主要評価項目を達成 : 2025年1月
	S-743229	AMR (複雑性尿路感染症)	Phase 1	併用Phase 1速報 (FY24 3Q) →		
	S-649228	AMR (グラム陰性菌感染症)	Phase 1	併用Phase 1開始 (FY24 2Q) 速報 (FY24 3Q) →		

主要な開発プロジェクトのマイルストーン - 社会的影響度の高いQOL疾患 -

※棒線の始点はFPI、終点はCSR、速報は入手時期を示しており開示時期は別途検討

疾患領域	プロジェクト	対象疾患	現開発ステージ	2024年度	2025年度	特記事項	
社会的 影響度の 高いQOL 疾患	SDT-001	ADHD	申請		承認 (FY24 4Q)		
	ズラロン	大うつ病性障害	申請	申請 (FY24 2Q)	承認 (FY25 2Q)		
	Resiniferatoxin	変形性膝関節症	Phase 3		申請 (FY25 3Q)		
	Zatolmilast	脆弱X症候群	Phase 2/3		Phase 2/3 速報 (FY25 1Q)	申請 (FY25 3Q)	
		Jordan症候群	Phase 2		Phase 2 開始 (FY24 3Q)		米国Phase 2 開始 (IND申請*) : 2024年11月
	レダセムチド	急性期脳梗塞	Phase 2b				
		栄養障害型表皮水疱症	Phase 2				
	S-309309	肥満症	Phase 2		非臨床追加試験実施中		
	SASS-001 (S-600918 + 併用薬X)	睡眠時無呼吸症候群	Phase 2		Phase 2 開始 (FY24 3Q)	Phase 2 速報 (FY25 4Q)	
	S-531011	固形がん	Phase 1b/2		Phase 2パート開始 (FY24 2Q)		
S-151128	慢性疼痛	Phase 1b		Phase 1b 速報 (FY24 2Q)			
S-606001	ポンペ病	Phase 1			Phase 2 開始 (FY25 1Q)	FDAによる 希少小児疾病用医薬品の指定	

Appendix

Zatolmilast : Jordan症候群を対象とした開発

世界初の治療薬を目指し、新たにJordan症候群を対象とした臨床試験を開始

Jordan症候群とは？



発達遅延を特徴とする
遺伝子変性の希少疾患



25-30万人の潜在患者
(グローバル)



承認された
治療薬がない



認知機能障害が
大きなアンメットニーズ

Zatolmilastの特徴と開発計画

既存のアンメットニーズを満たす世界初の治療薬

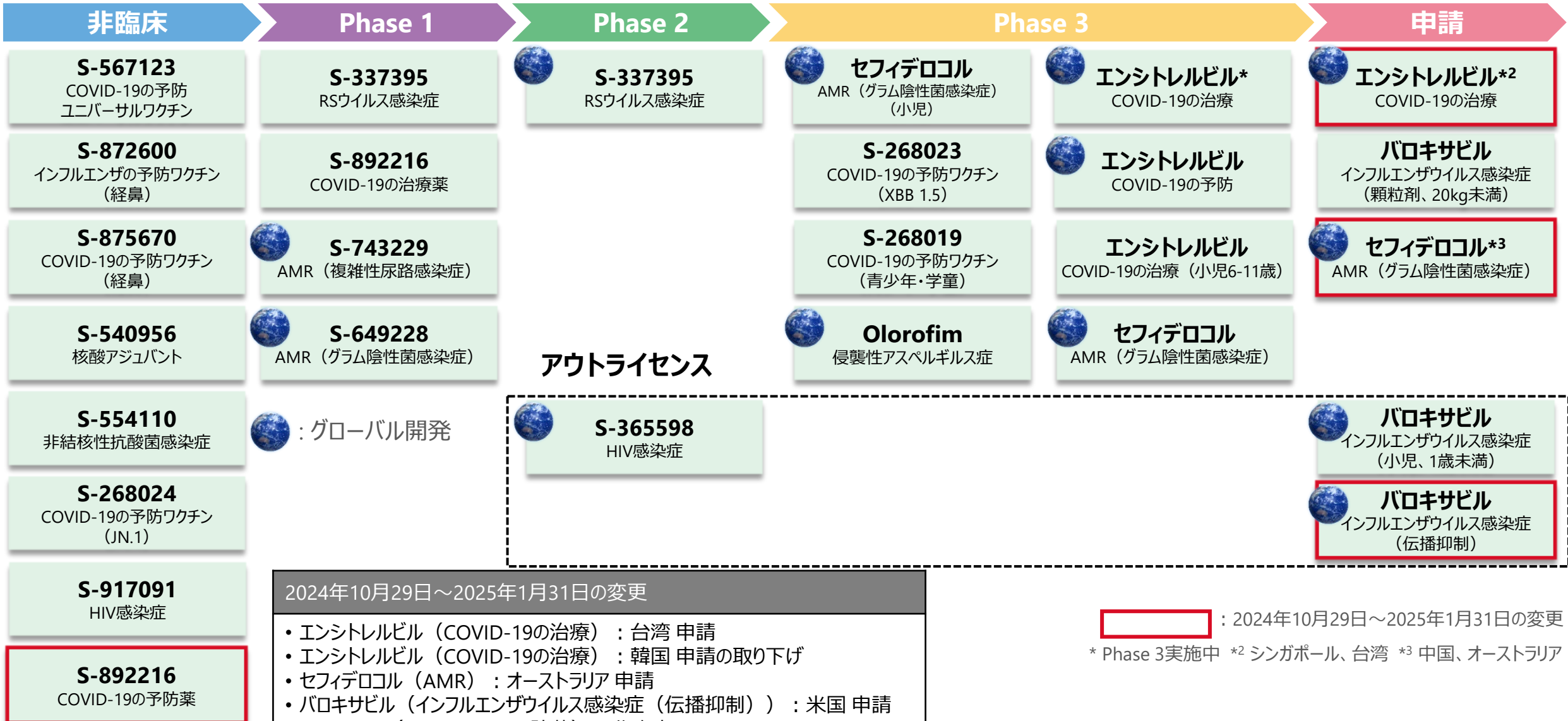
- 作用機序：PDE4D選択的アロステリック阻害
 - 神経細胞内のシグナル伝達系を制御することで、認知機能の向上が可能
- 希少小児疾患指定を取得（米国）

2026年の承認を目指しPhase 2試験を開始

- 脆弱X症候群の開発と並行して実施

開発パイプラインの状況_感染症

2025年1月31日現在



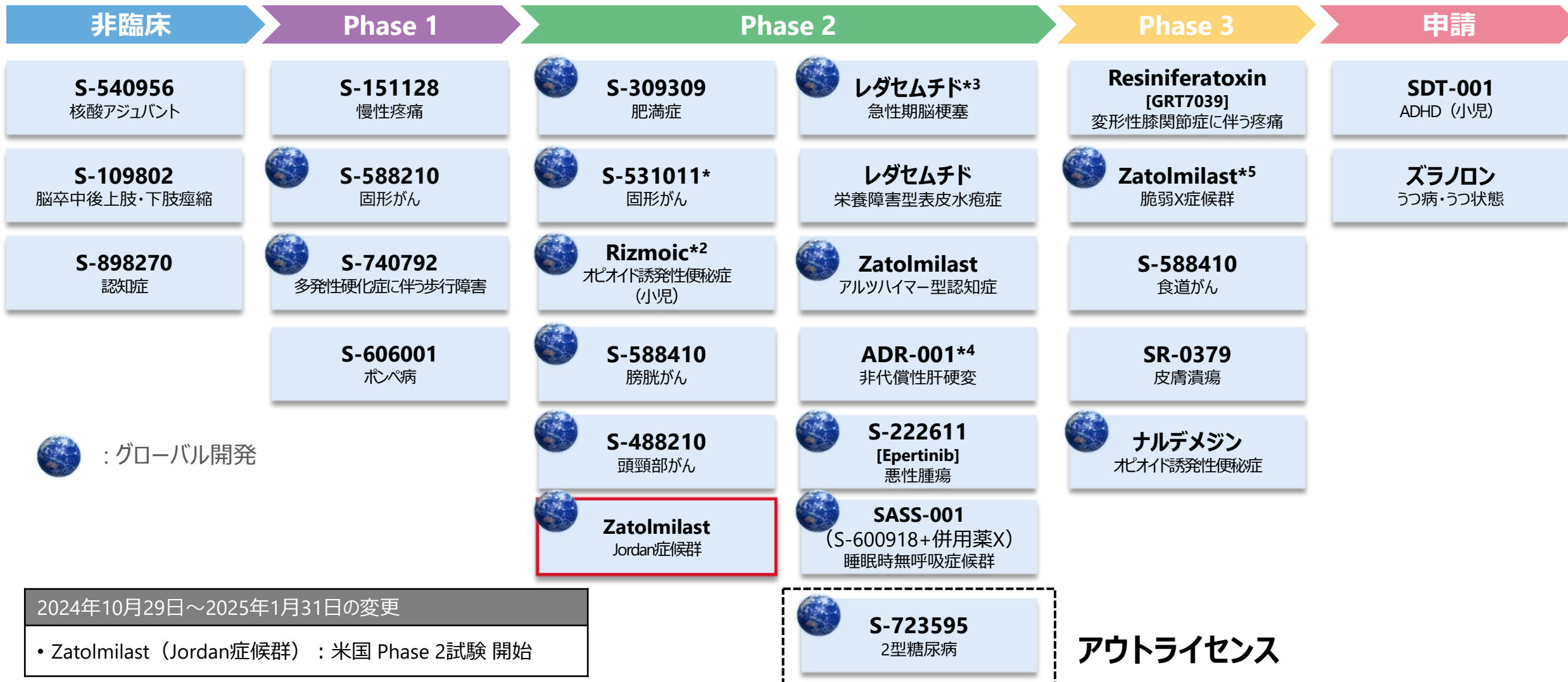
2024年10月29日～2025年1月31日の変更

- ・エンシトレルビル (COVID-19の治療) : 台湾 申請
- ・エンシトレルビル (COVID-19の治療) : 韓国 申請の取り下げ
- ・セフィデロコル (AMR) : オーストラリア 申請
- ・バロキサビル (インフルエンザウイルス感染症 (伝播抑制)) : 米国 申請
- ・S-892216 (COVID-19の予防薬) : 非臨床

: 2024年10月29日～2025年1月31日の変更
* Phase 3実施中 *2 シンガポール、台湾 *3 中国、オーストラリア

開発パイプラインの状況_社会的影響度の高いQOL疾患

2025年1月31日現在



ViiV社の抗HIV治療・予防薬のラインナップ

製品名	製剤	化合物	投与方法	投与頻度	適応	2023年度売上 (M£)
Cabenuva	LA製剤	CAB + RPV	筋肉内注射	2ヶ月に1回	治療	708 M£
Apretude		CAB	筋肉内注射	2ヶ月に1回	予防	149M£
Dovato	2剤レジメン	DTG + 3TC	経口	毎日	治療	1,819M£
Juluca		DTG + RPV	経口	毎日	治療	661M£
Tivicay	単剤	DTG	経口	毎日	治療	1,386M£
Triumeq	3剤レジメン	DTG+ABC+3TC	経口	毎日	治療	1,542M£

その他の成果*

• 10月

- 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する資料の開示

• 12月

- 統合報告書2024が、「WICIジャパン統合レポート・アワード2024」におけるBronze Award（準優良企業賞）を受賞

• 1月

- 株式会社 AdvanSentinel*² が、環境中の高病原性鳥インフルエンザウイルスの高感度検出法の確立と活用に貢献するために鳥取大学・鹿児島大学と共同研究を開始
- ラベル台紙の水平リサイクルを目指す「資源循環プロジェクト」がWorld Star Awards 2025を受賞
- 株式会社日立製作所と「データと生成AIなどを活用した 革新的な医薬品・ヘルスケア業界向けサービス創出に向け」業務提携を開始
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療薬対応の新保険「コロナ治療薬お見舞い金」への協賛

将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。